

うおっち Watch

発行:湖西中学校区保幼小中一貫教育推進委員会 担当:地域連携グループ

保護者・地域の皆様へ

タイトルの「うおっち」は15年間の育ちを「地域でWatch(見つめる)」という意味を込めました

ノースクリーンウィークの取組

子どもたちがよりよい生活習慣を身に付け、健康で自立した生活を送ることができるようになるために、今年も夏休みに「ノースクリーン・ウィーク」の取組を行いました。コロナ禍やオリンピックといった、思わずメディアとの付き合いが増えてしまっている現在の情勢にも関わらず、たくさんのご家庭にご協力いただくことができました。ありがとうございました。

◎各家庭の取り組み方◎

- ・めあてを決めて取り組む・・・自転車に乗れるようにする、お手伝い、いっしょに料理をする、体を動かす遊びなど
- ・取り組む時間を決める・・・午前中だけ、ご飯の間だけ、〇日間、など
- ・テレビやゲームの時間を決める・・・いつもより短めにする、どちらかはお休みする、など
- ・見る内容を決める・・・オリンピックだけ、教育テレビだけ、ニュースだけなど



取組を終えて

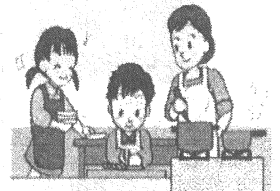
○最初にテレビの時間を子どもと決めたのですが、数日守れない日もありました。でも、だらだらと流れ見ることをやめるように意識し、一緒に遊ぶようにすると、今までとは違った遊びや遊び方の変化を知ることができました。

○コロナで室内あそびの機会が増え、TVを見る時間がどうしても長くなり取り組むことが難しくなりました。

○カレーの材料を切ってもらいました。なすびが苦手な子どもたちですが、みんなで食べると苦手ななすびもどこに入っているのかわからないくらいで、おいしく食べることができました。

○昼、まったくテレビやゲームをしない日とする日を比べたら、する日の方がストレスがたまっていました。(児童)

○夜ごはんの時、今日あったことをたくさん話しました。テレビを見ながらではなかったため、いろんな表情が見られた。とても楽しい時間を過ごすことができました。(児童)



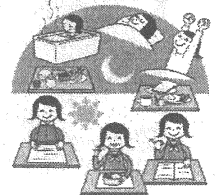
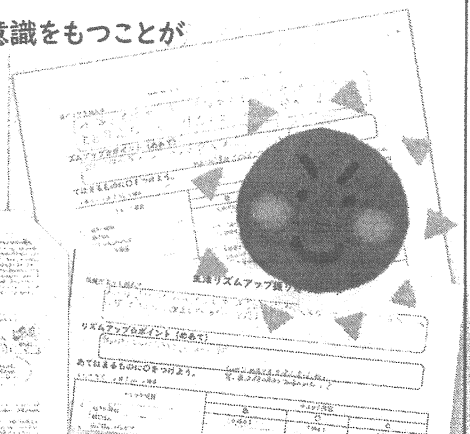
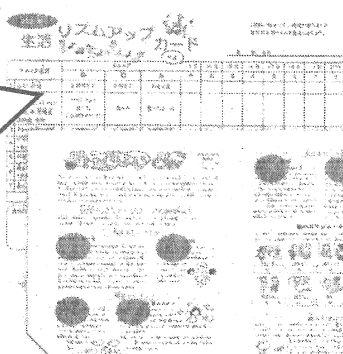
生活リズムを守りましょう!

朝からどんよりした顔をしている子どもたちに聞いてみると、「夜寝るのが遅くなってしまった。」「朝ご飯を食べなかった。」「ゲームや動画を一日中やっていた。」と答えることがあります。

規則正しい生活リズムを自分で意識できることが、毎日の元気に繋がります。そこで、各学校で生活リズムを記録し、振り返る活動を行いました。自分の一週間の生活を客観的に振り返ることで、早寝早起きを意識したり、ゲームの時間を守ろうと意識したりすることができました。

元気いっぱい毎日を送るためにも、自分で毎日の生活リズムを守っていく意識をもつことが大切です。

- ・自分の生活をチェックできてよかった。
- ・少しテレビを見すぎかなと思った。この調子でいいことと直したほうがいいことが分かったので、直していきたい。
- ・睡眠は大切だと思った。
- ・ほとんど毎日ゲームをしていた。ずっと長くゲームをしていた。



<保護者・地域とともにある学校をめざして>

園児・児童・生徒の活動支援や環境整備に保護者や地域の力は欠かせません。今年度の「うおっち」の紙面では、地域と園・学校を結ぶ活動をされている方々の紹介をしています。今回は2学期以降の取組です。

「むくげの花の会」 <湖西中学校の取組>

ふるさとウォークサポート（1年生）

市内の史跡をめぐりながら、学校までの約15kmを踏破する「ふるさとウォーク」では、むくげの花の会の方々が、一緒に歩いてくださり、史跡での講話や安全指導もしてくださいました。また、学校に到着した生徒たちに、学而事人農園でとれた焼き芋をふるまってください、生徒たちは、ほくほくの焼き芋をおいしくいただきました。サポートには、全部で15名ほどの方が協力してくださいました。



<その他むくげの花の会のみなさんにお世話になったこと>

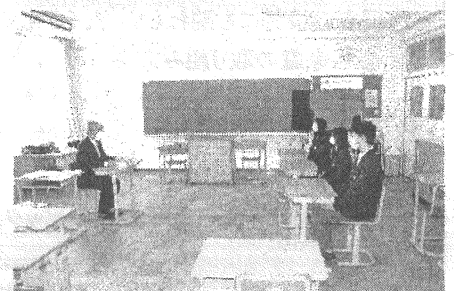
職場体験サポート（2年生）

40余りの事業所の訪問、生徒の受け入れ依頼

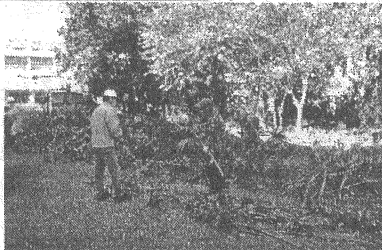
進路学習サポート（3年生）

元高校の先生への講師依頼、面接指導（3名で15回）

避難訓練後の地域防災学習（全学年、地区別）



「夢の会」 <新旭南小学校の取組>



観察池周辺の木々の剪定

校舎北側の観察池周辺の木々がかなり密な状態にあり、昼間も薄暗い状態で防犯上気になっていましたので、木々の剪定をお願いしました。4時間ほどかけて刈り取った木々は大型トラック数台分にもなりました。剪定後は、すっきりして風通しよく明るくなり、湖西中学校が木々の間から見えるようになりました。

「九九道場」(2年生)

九九道場を開催し、お手伝いいただきました。感染症対策をしながら、子どもたちが唱える覚えてたの九九の聞き取りをしました。最後まですらすらと言えれば、児童に合格のスタンプを押します。子どもたちは、それぞれの会員のところに列をつくり、合格目指してがんばりました。



「希望(のぞみ)の会」 <新旭北小学校の取組>

新旭北小学校には「愛鳥の森」という学校林があり、毎年4年生が「やまのご学習」の一環で半日思いきり森の中で遊ぶ活動をしています。その際、子どもたちが安全かつ大胆に遊べるよう、希望の会、大師山ボランティアサークル、ウッディパーク区民の皆さんに支援していただいています。

希望の会の方には、他にも2年生の九九道場や体育館への渡り廊下の雪囲い設置などでもご協力いただいています。特に雪囲いは、今年の大雪には効果絶大でした。

